

(1)出題方針

世界史の問題は〔I〕〔II〕〔III〕の三つの大問で構成され、配点はそれぞれ 50 点であり、全体で 150 点満点、試験時間は 75 分である。いずれの大問も、番号選択と記述式の二つの形式を混合して出題される。高校で学ぶべき知識を万遍なく学習したかどうかを重視しているので、出題範囲は「世界史探究」の教科書の記述内に留まり、それ以上の専門知識は求めている。その限りにおいて、先史時代から現代まで、どの地域についても、政治・経済・文化などあらゆる分野から出題される可能性がある。大問ごとに主たる地域・時代が設定されるが、個々の設問の出題範囲は必ずしもそれに限定されない。

大問によっては、ある地域の長期的展開の理解が問われる。例えば、2月5日〔I〕は紀元前 2000 年頃のギリシアから4世紀のローマまで、2月6日〔I〕は戦国時代からモンゴル帝国に至るまでの東アジア地域、2月7日〔II〕は隋の時代から清の時代に至るまでの中国、2月8日〔I〕は紀元前 3000 年頃からサファヴィー朝に至るまでの西アジア地域、2月9日〔I〕は5世紀頃から 12 世紀頃までのヨーロッパ、2月 10 日〔I〕は漢の時代から元の時代までの東南アジア地域、2月 10 日〔II〕は6世紀頃から 18 世紀頃までの北ヨーロッパ・東ヨーロッパ地域における歴史的展開に関連する大問である。

他方で、同時代の地域間の関係の理解を問うものもある。例えば、2月5日〔II〕はイギリスとアジア・アフリカの関係、2月6日〔III〕はアメリカ合衆国とアジア・アフリカの関係、2月7日〔I〕は中世の地中海商業圏と北ヨーロッパ商業圏の関係、2月8日〔II〕はヨーロッパ、アフリカ、アメリカの間の環大西洋貿易、2月9日〔II〕はアメリカ独立革命からメキシコ革命までの南北アメリカとヨーロッパの関係、同日〔III〕は第一次世界大戦期のヨーロッパと東アジアの関係に関連する大問である。これら以外のものも含め、時間的・空間的な広がりを認識できるよう、幅広い範囲から出題した。

(2)解答状況および解説

試験日ごとの受験者／合格者の平均得点率は、2月5日は 73.5／84.2%、2月6日は 68.3／78.4%、2月7日は 73.9／84.1%、2月8日は 74.6／84.9%、2月9日は 66.2／78.6%、2月 10 日は 73.3／86.7%という結果であった。全体として得点率はおおむね高く、受験生の学習成果が表れているようである。

いずれの日程も、合格者の平均得点率は、受験者のそれより約 10% 高くなった。以下では、比較的大きな差が生じた設問を挙げる。まず歴史的経緯、因果関係の理解を問うものとして、2月5日〔III〕設問 11 のイラン革命、2月9日〔I〕設問4の9世紀のイスラーム王朝、2月 10 日〔I〕設問2の 10 世紀以後のベトナム、同〔III〕設問4のヨーロッパの地域統合についての問題、また出来事を年代順に並べる問題である。歴史的事件の推移や地域における変化を、ある程度長いスパンで理解することが必要である。

また、知識の正確さを問う問題として、2月8日〔I〕設問5のブワイフ朝、2月9日〔I〕設問4のキリスト教アリウス派についての問題である。いずれも、名称や年代だけでなく、内容についてきちんと理解することが求められる。

(3)受験生へのメッセージ

何より重要なのは、「世界史探究」の教科書の内容を万遍なく学習しておくことである。用語の内容を正確に理解し、特定の時代や地域に関する知識を身につけるだけでなく、ある地域の歴史的展

開をある程度長いスパンで理解することや、さまざまな地域間の関係を理解することが必要である。また、教科書の本文のみならず、地図も注意深く見て、地政学的に考えることも重要である。

受験上の注意としては、以下の点が挙げられる。まずリード文・問いかけ文・選択肢を、落ち着いてよく読むことが必要である。特に記述式の問題では、問いかけ文の指示を正確に読み取らなかったために、誤って解答しているケースが散見される。例えば、カタカナで表記するように指定しているにもかかわらず、漢字やアルファベットで解答するなどといったようなことが見られる。

次に、解答欄には丁寧に記入することが必要である。数字・漢字・カタカナなど、正確さはむろんのこと、文字を判読できるようにきちんと書くことが求められる。とりわけ記述式問題に解答する際は、慎重さが必要である。漢字については誤字が多く見られるが、それらは誤答となる。またカタカナで解答する場合も、曖昧な覚え方をしているために表記が微妙に間違っているケースが散見される。用語はなんとなく認識するのではなく、正確に書けるようにしておくことが必要である。

◆世界史◆ 出題の意図

102	出題の意図
[Ⅰ]	古代ギリシア・ローマの歴史的展開についての理解を問う。
[Ⅱ]	イギリスの海外進出の歴史についての理解を問う。
[Ⅲ]	近現代の中東地域の歴史的展開についての理解を問う。
103	出題の意図
[Ⅰ]	古代からモンゴル帝国台頭までの東アジア地域の歴史的展開についての理解を問う。
[Ⅱ]	近世の西ヨーロッパと南ヨーロッパの歴史的展開についての理解を問う。
[Ⅲ]	アメリカ合衆国の、植民地問題への対応についての理解を問う。
104	出題の意図
[Ⅰ]	中世ヨーロッパの文化や産業についての理解を問う。
[Ⅱ]	中・近世の中国の歴史的展開についての理解を問う。
[Ⅲ]	19世紀の西ヨーロッパと南ヨーロッパの政治文化についての理解を問う。
105	出題の意図
[Ⅰ]	古代から近世までの西アジア地域の歴史的展開についての理解を問う。
[Ⅱ]	大西洋奴隷貿易の歴史についての理解を問う。
[Ⅲ]	冷戦期の欧米諸国間の関係についての理解を問う。
106	出題の意図
[Ⅰ]	中世ヨーロッパの政治についての理解を問う。
[Ⅱ]	アメリカ独立革命からメキシコ革命までの南北アメリカ大陸の政治的動向についての理解を問う。
[Ⅲ]	20世紀の東アジア地域の歴史的展開についての理解を問う。
107	出題の意図
[Ⅰ]	古代から近世までの東南アジア地域の歴史的展開についての理解を問う。
[Ⅱ]	近世の東ヨーロッパと北ヨーロッパの歴史的展開についての理解を問う。
[Ⅲ]	第二次世界大戦後のヨーロッパ諸国の政治的動向についての理解を問う。